

心、れ、あ、い、

尼崎市立南武庫之荘中学校新聞
令和 3年 1月号
第 18 / 235号 Tel.6436-2241
<http://www.ama-net.ed.jp/school/j17>
文責：屋敷 成治



3学期がスタートしました



新学期が始まり、いきなり暴風雪警報という初めて聞くような警報で休校になりました。冬休みはGoToトラベルが全国停止になり、外出も自粛、おじいちゃん、おばあちゃんと会うこともできずに我慢したのに、コロナの感染者数の増加で再び非常事態宣言が出ました。

私たちの周辺でも検査対象数が増え、終わりが見えないため、心配が絶えることがありません。しかし、このような状況でも、生徒やご家庭の皆さん、地域の方々も含め、感染防止に努め、冷静に思いやりの気持ちをもって対応して下さっていることを本当に有り難く思っています。

皆さんよくご存じの明石家さんまさんの座右の銘で、「生きているだけで丸もうけ」という言葉があります。人は誰でも生きていく中で、思いどおりにうまくいくこと、うまくいかないこと、様々なことを経験します。たとえどのような状況になっても、物事を前向きに考えることで、幸せな気持ちで生きていくことができということを教えてください。「生きているだけでも丸もうけ。コロナが収束したら、きっといいことがある」というぐらいの気持ちで、今年もみんなで力を合わせて頑張っていきたいと思えます。

さて、今年は丑(うし)年です。牛は昔から食料としてだけでなく、農作業や重たい物を運ぶときの労働力として、人間の生活に欠かせない動物です。ひたすら真面目によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物として十二支に加えられたそうです。十二

支の動物の中で最も動きがゆっくりとして歩みの遅い丑の年は、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています。今は皆さんが蒔いた種が芽を出して成長する時期であり、将来につながる基礎を積み上げていく時期です。



まさに、やがてくる花開く時のために日々努力を積み重ねていきましょう。

トライやる 見て、触って、体験して学ぶ

1月18日、昨年実施できなかった「トライやるウィーク」の代わりとして、2年生は姫路市にある県の施設「ものづくり体験館」を訪問しました。6クラスが8台の大型バスに分乗して訪れた体験館では、錫の鑄造オブジェ、キャンドルスタンド、座布団、だし巻き卵、巻き寿司などをひょうごの匠の先生方から直接手ほどきを受けて作成しました。高度な技能に触れることで、ものづくりの楽しさや難しさ、その奥深さを体験しました。

短い時間でありましたが、「ものづくり」への関心が高まり、将来の進路を考える上で重要な時間となりました。



生徒会スタート!

昨年12月11日に放送による選挙演説が行われ、令和3年度の生徒会役員が選出されました。生徒会選挙には2つの目的があります。まず、自分たちの代表を誰にするかということ。次に、民主主義の基本である選挙を正しく理解

するという事です。皆さんの学校生活をより良いものにするため、生徒会役員を信頼し、来年度の専門委員会などに向けてひとつでも多く提案事項が実現するよう協力していきましょう。今年は夏のシャツをポロシャツに、校則・行事の見直しの検討など考えています。生徒会の皆さんには、学校を中心となって力を発揮してください。

- ・吉田幸 会長
- ・萩野 副会長
- ・坂元小 書記
- ・中嶋 評議委員長
- ・田川 風紀委員長
- ・高橋花 美化委員長
- ・小倉 保健委員長
- ・田代 体育委員長
- ・乗本 文化委員長
- ・米山 厚生委員長
- ・池田桜 図書委員長



わくわくオーケストラ教室



1月19日、兵庫県の事業で、中学1年生を対象に阪神・淡路大震災の文化復興のシンボルとして西宮市に設立された本格的な芸術の舞台「兵庫県立芸術文化センター」で、プロのオーケストラの演奏によるクラシック鑑賞「わくわくオーケストラ教室」に参加させていただきました。

素晴らしいホールで本物の演奏に触れるだけでなく、震災の復興に向けて、芸術文化が私たちに生きる希望や勇気を与えてくれたことも肌で感じる事ができました。



そしてなによりも、1年生の皆さんの行き帰りと鑑賞の態度がとても良かったことを先生方は喜んでおられました。

小学生部活体験



1月20日に予定していた小学生の部活体験が中止になりました。6年生の皆さんはとても楽しみにしていたようなので、南武中の先輩たちが、活動の様子を撮影したビデオレターを届けてくれました。部活動は技術が身につくだけでなく、礼儀や忍耐力、先輩後輩の付き合いなど、社会に出て役立つことを学ぶことができるので、ぜひ、どこかの部活動に入ってほしいと思っています。